

社会（3年公民） 評価計画

①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観点	単元の評価基準 学習評価表	具体的評価目標 おおむね満足 B	評価方法 場面
第一章 私たちの暮らしと現代社会 1 節 私たちが生きる現代社会 2 節 現代につながる伝統と文化 3 節 私たちがつくるこれからの社会	① ② ③	地理や歴史で学んできたことをもとに、私たちの暮らしや考え方に生じてきたさまざまな変化や影響を確認する。 現代の社会をどのようにとらえ、未来をどのように生きていけばよいかを考える。	①知識・技能 地理・歴史の学びや身近な暮らしと関連付けながら現代社会の特徴を理解し、キーワードとしてまとめている。 ②社会的な思考・判断・表現 友達との意見交換を通して、現代社会の特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 自分と異なる考え方や多様な価値観も踏まえながら、現代社会の特徴を捉えなおし、よりよい暮らしのあり方について、現代社会にみられる課題の解決を視野に、考察を深めようとしている。	ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 授業観察 提出物 発表 学習ドリルソフトの活用
第二章 個人を尊重する日本国憲法 1 節 日本国憲法の成り立ちと国民主権 2 節 憲法が保障する基本的人権 3 節 私たちと平和主義	① ② ③	憲法を学ぶにあたり、その根底にある個人の尊重という考え方の大切さに気づく。 憲法とは何か、なぜ憲法を学ぶ必要があるのかについて興味・関心をもつ。	①知識・技能 日本国憲法が、個人の尊重という価値観を基礎に成り立っていることを理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 個人を尊重するという考えについて、日常の具体的なできごとと関連付けて考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 個人の尊重と法の支配の重要性に着目し、自分の生活と関連付けて憲法を学ぶ意味を自らに問い、理解しようとしている。	ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 授業観察 提出物 発表
第三章 私たちの暮らしと民主政治 1 節 民主政治	① ② ③	議会の傍聴を通して、身近な暮らしと政治との関わりについて考える。 民主主義という考え方のもつ意義や特徴を理解し、	①知識・技能 身近な地域の課題を解決する役割を担う人々について調べることを通して、民主主義の考え方について理解している。	ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 授業観察 提出物

<p>と日本の政治</p> <p>2 節 三権分立のしくみと私たちの政治参加</p> <p>3 節 地方自治と住民参加</p>		<p>身近な暮らしの中で果たしている役割に気づく。</p>	<p>②社会的な思考・判断・表現 議会の傍聴や視聴などを通して、身近な暮らしと民主主義を関連付けて考察している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 議会の傍聴や視聴をきっかけに、自分の生活と関連付けて、民主主義の考え方や民主政治の意味について問い、考察しようとしている。</p>	<p>発表 学習ドリルソフトの活用</p>
<p>第四章 私たちの暮らしと経済</p> <p>1 節 消費生活と経済活動</p> <p>2 節 企業の生産のしくみと労働</p> <p>3 節 市場のしくみと働き</p> <p>4 節 金融のしくみと財政の役割</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>経済社会における「分業」のもつ意味について、具体例をもとに考える。</p> <p>③ ものを交換することの意義や、その際に貨幣の果たす役割に気づき、身近な暮らしと経済活動とのつながりへの関心を高める。"</p>	<p>①知識・技能 分業をすることが生産性の向上をもたらすこと、貨幣を通じて生産物を交換していることを理解し、経済活動は一人一人が関わり合って成立していることに気づく。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現 生産物の交換に貨幣が使われることの意義や効率性について、物々交換との比較で考察し、説明している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 身近な生活の中で経済活動がどのような意味をもつのかについて、「分業と交換」という視点から、主体的に学習していく見通しをもっている。</p>	<p>ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 授業観察 提出物 発表 学習ドリルソフトの活用</p>
<p>第五章 安心して豊かに暮らせる社会</p> <p>1 節 暮らしを支える社会保障</p> <p>2 節 これからの日本経済の課題</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>生まれてからこれまでの私たちの 15 年間の暮らしは、どのように営まれてきたのかを理解する。</p> <p>これからの人生においては、どのような支えが必要になっていくかを考える。</p>	<p>①知識・技能 「出産・育児」「保育・教育」「医療」の視点から、中学校3年生にいたるまでに平均的に使われている費用を理解し、まとめている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現 これまでの15年間で自分が受けてきた公的な支援を踏まえながら、これからの人生においてどのような支援を受けるかを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 私たちが安心して豊かに暮らし</p>	<p>ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 授業観察 提出物 発表 学習ドリルソフトの活用</p>

			ていくために必要なことはどのようなことか、「希少性」(資源の分配のあり方)の観点をもって、主体的に学習していく見通しをもっている。	
第六章 国際社会に生きる私たち 1 節 国際社会の平和を旨として 2 節 国際社会が抱える課題と私たち	① ② ③	国際社会が抱えている課題をとらえ、「持続可能」な社会の実現に向けた取り組みが国際社会に求められていることに気づく。 国際社会に存在するさまざまな課題を学び、その解決に向けて自分なりに取り組んでいくことの意義について考える。	①知識・技能 酸性雨や大気汚染、オゾン層の破壊、海洋汚染、森林減少など、人間が関与した地球環境問題は「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の目標の何に当てはまるか調べ、持続可能な発展に向け世界が協調して進める意義を理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 先進国と発展途上国など国家間や地域間により、持続可能な発展に向けた意見や考えの違いが生まれる理由を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 持続可能な開発目標の達成や地球環境問題の解決に向け、国や地域、個人がすべきことについて、現代社会にみられる課題の解決を視野に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 授業観察 提出物 発表 学習ドリルソフトの活用
終章 私たちが未来の社会を築く 1 節 持続可能な未来の社会へ	② ③	日本国憲法の平和主義に関する理解を深め、我が国の国際貢献のあり方について考えるとともに、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。持続可能な社会を形成するという観点から、わたしたちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探求し、自分の考えをまとめることができる。	②社会的な思考・判断・表現 社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 授業観察 提出物 発表 学習ドリルソフトの活用